

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 27 日

福岡県知事 殿

提出者

福岡県大牟田市

住 所  
新開町 1 番地

氏 名  
デンカ株式会社 大牟田工場

電話番号 0944-52-1063

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	デンカ株式会社 大牟田工場
事業場の所在地	福岡県大牟田市新開町 1 番地
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E. 製造業
② 事業の規模	資本金：36,998百万円
③ 従業員数	671名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙添付（表1）参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙添付（表2）参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥 ダスト類
	排出量	1,675 t	9,715 t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	排出量	113 t	0.2 t
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類
	排出量	65 t	322 t
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	排出量	314 t	29 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	鉍さい
排出量	945 t	0.3 t	
産業廃棄物の種類	がれき類	ばいじん	
排出量	7 t	2 t	
(これまで実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 煤塵・ダスト類は、工程密閉化の他に集塵、分別をきちんと行い、工程戻し等により発生を抑制した。</li> <li>・ 工程の見直し等による零れ防止の実施。</li> <li>・ 廃棄物の分別徹底等による有償化を進めた。</li> </ul>			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥 ダスト類
	排出量	1,420 t	8,260 t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	排出量	96 t	0.2 t
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類
	排出量	55 t	274 t
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	排出量	267 t	24 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	鉍さい
排出量	804 t	0.2 t	
産業廃棄物の種類	がれき類	ばいじん	
排出量	6 t	2 t	
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 煤塵・ダスト類は、更なる工程密閉化の他に集塵、分別を行い工程戻し等による発生を抑制。</li> <li>・ 廃棄物の分別徹底等による有償化を進める。</li> </ul>			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 煤塵・ダスト類の分別による再資源化。</li> <li>・ 他の廃棄物の更なる分別徹底など。</li> </ul>
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高含水汚泥の脱水による再資源化への検討。</li> <li>・ 廃酸、廃アルカリの中和処理設備での中和検討。</li> </ul>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥 ダスト類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	鉱さい	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	がれき類	ばいじん	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組)			
	・特になし			
【目標】				
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥 ダスト類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	鉱さい	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	がれき類	ばいじん	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組)			
	・特になし			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥ダスト類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	鉱さい
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	ばいじん
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
・特になし			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥ダスト類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	鉱さい
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	ばいじん
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			
・特になし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（ 6年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥ダスト類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	鉋さい
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	がれき類	ばいじん	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
(これまでに実施した取組)			
・特になし			
		【目標】	
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥ダスト類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	鉋さい
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	がれき類	ばいじん	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
(今後実施する予定の取組)			
・特になし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

		【前年度 ( 6年度) 実績】				
		産業廃棄物の種類		汚泥	汚泥 ダスト類	
①現状	全 処 理 委 託 量	1,675	t	9,715	t	
	優良認定処理業者への委託量	1,457	t	2,345	t	
	再生利用業者への委託量	1,673	t	9,692	t	
	認定熱回収業者への委託量	0	t	0	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0	t	0	t	
	産業廃棄物の種類		廃油		廃酸	
	全 処 理 委 託 量	113	t	0.2	t	
	優良認定処理業者への委託量	113	t	0.2	t	
	再生利用業者への委託量	106	t	0	t	
	認定熱回収業者への委託量	0	t	0	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0	t	0	t	
	(これまでに実施した取組)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ばいじん、ダスト類は、工程密閉化の他に集塵、分別を行い、セメント原料や路盤材等への再生利用の促進。</li> <li>・廃酸、廃アルカリの中和処理設備での中和。</li> </ul>						
		【目標】				
		産業廃棄物の種類		汚泥	汚泥 ダスト類	
②計画	全 処 理 委 託 量	1,420	t	8,260	t	
	優良認定処理業者への委託量	1,240	t	1,990	t	
	再生利用業者への委託量	1,420	t	8,240	t	
	認定熱回収業者への委託量	0	t	0	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0	t	0	t	
	産業廃棄物の種類		廃油		廃酸	
	全 処 理 委 託 量	96	t	0.2	t	
	優良認定処理業者への委託量	96	t	0.2	t	
	再生利用業者への委託量	90	t	0	t	
	認定熱回収業者への委託量	0	t	0	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0	t	0	t	
	(今後実施する予定の取組)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ばいじん、ダスト類は、更なる工程密閉化の他に集塵、分別を行い、セメント原料や路盤材等への再生利用の促進。</li> <li>・廃酸、廃アルカリの中和処理設備での中和検討。</li> </ul>						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

		【前年度 ( 6年度) 実績】				
		産業廃棄物の種類		廃アルカリ	廃プラスチック類	
①現状	全処理委託量	65	t	322	t	
	優良認定処理業者への処理委託量の量	65	t	299	t	
	再生利用業者への処理委託量の量	0	t	150	t	
	認定熱回収業者への処理委託量の量	0	t	0	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量の量	0	t	0	t	
	産業廃棄物の種類		木くず		金属くず	
	全処理委託量	314	t	29	t	
	優良認定処理業者への処理委託量の量	8	t	5	t	
	再生利用業者への処理委託量の量	314	t	29	t	
	認定熱回収業者への処理委託量の量	0	t	0	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量の量	0	t	0	t	
	(これまでに実施した取組) ・木くずは、木製パレットから樹脂製パレットへの変換。 ・廃プラスチック類の分別徹底による再生利用の促進や有償化。					
			【目標】			
		産業廃棄物の種類		廃アルカリ	廃プラスチック類	
②計画	全処理委託量	55	t	274	t	
	優良認定処理業者への処理委託量の量	55	t	254	t	
	再生利用業者への処理委託量の量	0	t	130	t	
	認定熱回収業者への処理委託量の量	0	t	0	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量の量	0	t	0	t	
	産業廃棄物の種類		木くず		金属くず	
	全処理委託量	267	t	24	t	
	優良認定処理業者への処理委託量の量	7	t	4	t	
	再生利用業者への処理委託量の量	267	t	24	t	
	認定熱回収業者への処理委託量の量	0	t	0	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量の量	0	t	0	t	
	(今後実施する予定の取組) ・木くずは、木製パレットから樹脂製パレットへの変換促進。 ・廃プラスチック類の分別徹底による再生利用の促進や有償化の促進。					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

		【前年度 ( 6 年度) 実績】			
		産業廃棄物の種類	ガラスくず等	鉄さい	
①現状	全 処 理 委 託 量		945 t	0.3 t	
	優良認定処理業者への処理委託量の		905 t	0 t	
	再生利用業者への処理委託量の		925 t	0.3 t	
	認定熱回収業者への処理委託量の		0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量の		0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類		がれき類	ばいじん	
	全 処 理 委 託 量		7 t	2 t	
	優良認定処理業者への処理委託量の		7 t	0 t	
	再生利用業者への処理委託量の		7 t	2 t	
	認定熱回収業者への処理委託量の		0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量の		0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組)				
・特になし					
		【目標】			
		産業廃棄物の種類	ガラスくず等	鉄さい	
②計画	全 処 理 委 託 量		804 t	0.2 t	
	優良認定処理業者への処理委託量の		770 t	0 t	
	再生利用業者への処理委託量の		790 t	0.2 t	
	認定熱回収業者への処理委託量の		0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量の		0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類		がれき類	ばいじん	
	全 処 理 委 託 量		6 t	2 t	
	優良認定処理業者への処理委託量の		6 t	0 t	
	再生利用業者への処理委託量の		6 t	2 t	
	認定熱回収業者への処理委託量の		0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量の		0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組)				
・特になし					

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類 排出量	安定型混合廃棄物 0.23 t	管理型混合廃棄物 4 t
	産業廃棄物の種類 排出量	廃電気機械器具 7 t	水銀使用製品産業廃棄物 0.8 t
	産業廃棄物の種類 排出量		
	産業廃棄物の種類 排出量		
	産業廃棄物の種類 排出量		
	産業廃棄物の種類 排出量		
	産業廃棄物の種類 排出量		
	(これまでに実施した取組)		
	・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類 排出量	安定型混合廃棄物 0.19 t	管理型混合廃棄物 3 t
	産業廃棄物の種類 排出量	廃電気機械器具 6 t	水銀使用製品産業廃棄物 0.7 t
	産業廃棄物の種類 排出量		
	産業廃棄物の種類 排出量		
	産業廃棄物の種類 排出量		
	産業廃棄物の種類 排出量		
	産業廃棄物の種類 排出量		
	(今後実施する予定の取組)		
	・特になし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	水銀使用製品産業廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組)			
	・特になし			
【目標】				
②計画	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	水銀使用製品産業廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	水銀使用製品産業廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		0 t	0 t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		0 t	0 t	
産業廃棄物の種類		廃電気機械器具	水銀使用製品産業廃棄物	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		0 t	0 t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		0 t	0 t	
産業廃棄物の種類				
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類				
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類				
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	
(今後実施する予定の取組)				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
		(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

①現状

【前年度 ( 6年度) 実績】

産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
全 処 理 委 託 量	0.23 t	4 t
優良認定処理業者への委託量	0.23 t	1 t
再生利用業者への委託量	0.23 t	4 t
認定熱回収業者への委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	水銀使用製品産業廃棄物
全 処 理 委 託 量	7 t	0.8 t
優良認定処理業者への委託量	0 t	0.8 t
再生利用業者への委託量	7 t	0 t
認定熱回収業者への委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0 t	0 t

(これまでに実施した取組)

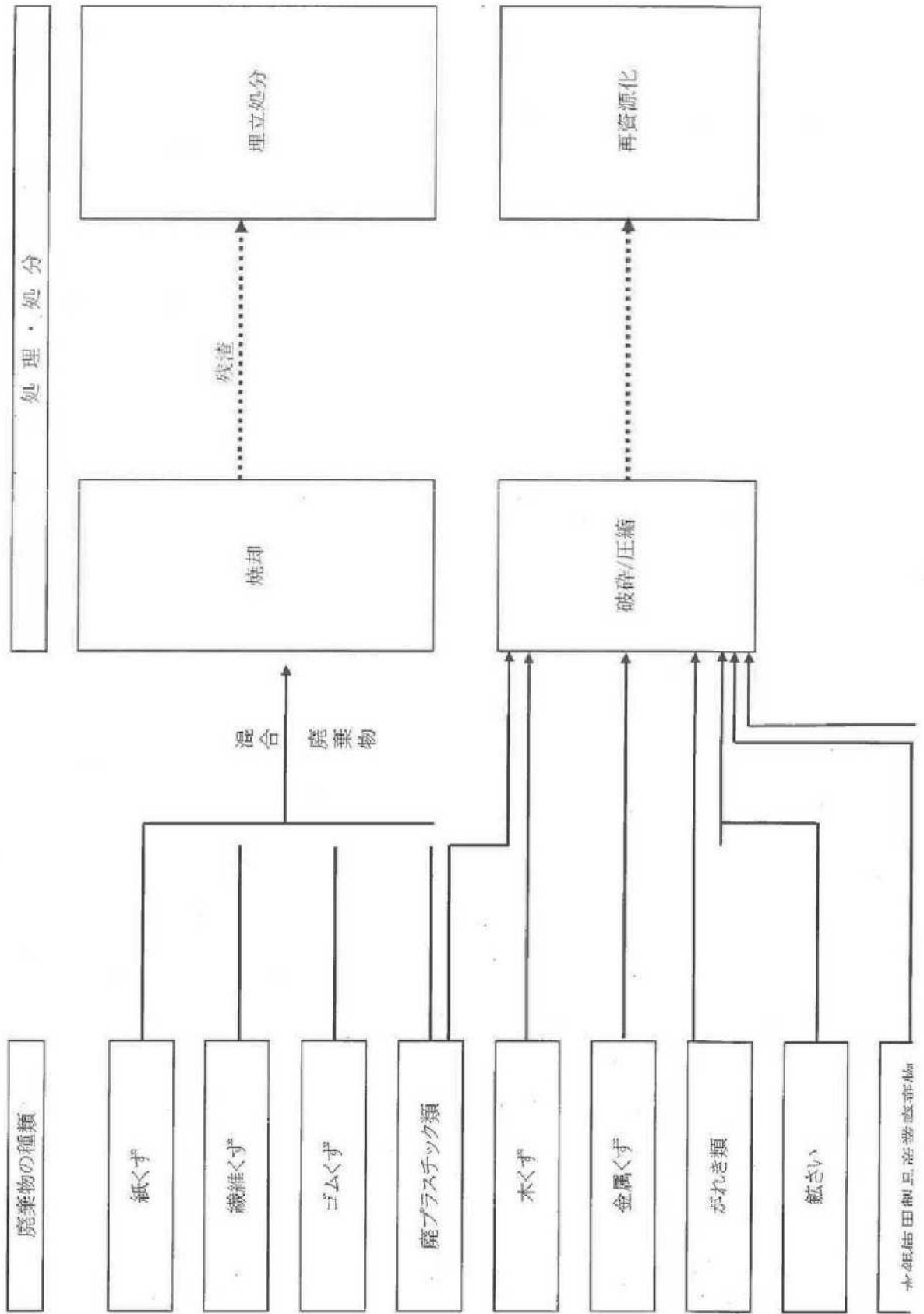
②計画

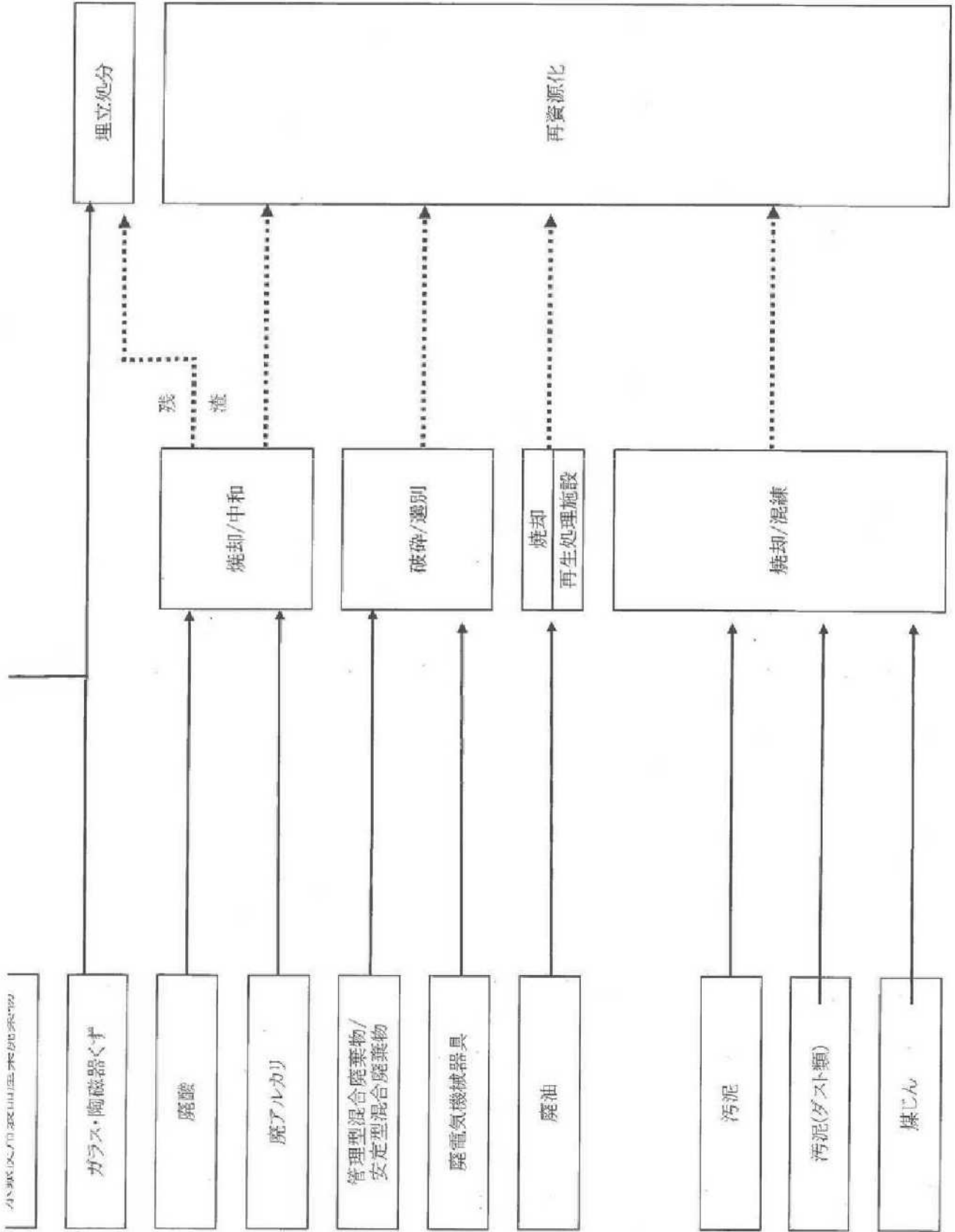
【目標】

産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
全 処 理 委 託 量	0.19 t	3 t
優良認定処理業者への委託量	0.19 t	1 t
再生利用業者への委託量	0.19 t	3 t
認定熱回収業者への委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	水銀使用製品産業廃棄物
全 処 理 委 託 量	6 t	0.7 t
優良認定処理業者への委託量	0 t	0.7 t
再生利用業者への委託量	6 t	0 t
認定熱回収業者への委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0 t	0 t

(今後実施する予定の取組)

(表1) 廃棄物処理フローシート(廃棄物の処理法)





(表2) 管理体制 (廃棄物処理に関する管理組織等)

産業廃棄物統括管理責任者	大牟田工場長	
廃棄物管理担当部門	環境保安部 環境保安課	部員 : 17名
廃棄物管理統括責任者	○ 廃棄物処理方針の策定等、廃棄物の管理及び処理に関する全ての事項を統括する。	
廃棄物管理統括責任者代理	○ 廃棄物管理統括責任者を補佐、並びに職務を代行する。	
産業廃棄物処理責任者	○ 廃棄物管理統括責任者の指示により、工場全体の産業廃棄物が適切に処理されるよう総合的な管理を行う。	
産業廃棄物処理施設技術管理者	○ 産業廃棄物処理施設の維持管理に関する技術上の業務を担当する。	
特別管理産業廃棄物管理責任者	○ 特別管理産業廃棄物の処理に関する業務を管理監督する。	
工場運営委員会	○ 廃棄物処理を含めた環境・保安・安全・健康等に関する検討。 廃棄物に関しては、廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進等、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ○ 資源の有効利用と産業廃棄物の削減のため、具体的なテーマを取り上げ、廃棄物の削減とリサイクルの改善策を検討、実施する。 ・ 委員長－工場長 ・ 委員－各部長	
管理担当部門責任者 (環境保安課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 産業廃棄物処理計画の作成</li> <li>○ 産業廃棄物管理状況の把握</li> <li>○ 産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握</li> <li>○ 産業廃棄物処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理</li> <li>○ 業務委託契約の締結</li> <li>○ 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理表の交付と管理</li> <li>○ 特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置</li> <li>○ 監督官庁への各種報告</li> <li>○ 社員、関連会社に対する教育・啓発</li> <li>○ 廃棄物に関する法令の改定等、情報の収集</li> <li>○ その他廃棄物に係る事項</li> </ul>	

大牟田工場における廃棄物管理体制

